

伊野地区社協だより

伊野の郷

第37号

令和6年12月発行

伊野地区社会福祉協議会

(伊野コミュニティセンター内)

〒691-0072 出雲市野郷町492-5

Tel.69-1526 Fax.69-1530

10%
OFF

伊野地区敬老会

長い間社会のためにご尽力いただいた皆さんに敬意を表し、伊野地区敬老会を行いました。今年は75歳以上の61名の高齢者の方にお出かけいただきました。地区の75歳以上の方は245名で、金剛石婚（60年夫婦）のご夫婦が3組、米寿の方が10名でした。

懇親会は伊野小2年生6名の劇でスタート。学校での様子を元気いっぱい演じてくれました。最後には「これからも元気でいてください」と書かれた折り紙付きの手書きの手紙を一人一人に手渡し。思いがけないプレゼントに、みなさん感激しておられました。

続いて東地区的石見神楽東神楽同好会による神楽「恵比寿」を披露してもらいました。「恵比寿」はおめでたい席で披露される演目で、鯛釣りの前に撒き餌として飴を投げます。今回は恵比寿様と小恵比寿様が一緒に会場に下り、参加者の皆さんに直接飴を配り、最後には二人で力を合わせて見事な鯛を釣り上げ、大いに会場を盛り上げていただきました。最後はのど自慢の敬老者たちが歌を披露され、終始和やかな雰囲気に包まれました。



11/26

ふれあい運動会



伊野小体育館にて地区高齢者クラブの皆さんと伊野小児童1、2年生10名による、ふれあい運動会が行われました。3チームに分かれ、ボール送りリレーとビール瓶倒しリレーで和気あいあい。「ボールが来るよー!」「頑張ってー!」と互いに声を掛け合いながら協力してプレーしておられる姿にこちらまでほっこり。

ふれあいタイムでは、子どもたちの好きな教科を教えてもらったり一緒に校歌を歌つたり、「伊野ふるさとかるた」を対戦したりと盛りだくさん。中には、かけ算九九を披露してくれる子どももいました。

児童と別れた後は、高齢者のみでミニ運動会を続行しました。みんなで身体を動かすと会話もはずみ、心も暖かくなりますね。



9/8

戦没者慰靈祭

戦争終結から79年が経過し、戦争や原爆の悲惨さを自らの体験として語ることができる人は少なくなつてきました。世界を見渡すとロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの闘争などで多くの尊い命が失われています。戦争を知らない世代の私たちが当然のように享受している平和と豊かさは、戦争で亡くなられた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを忘れず、あらためて戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、戦没の方々の御靈の安らかならんことをお祈りし、戦没者慰靈祭を神式で執り行いました。



8/25

忠魂碑清掃活動

今年も社協役員とコミニセン職員にて忠魂碑の清掃活動を行いました。忠魂碑は倉橋工務店の南の高台にあります。松の木の剪定と草刈り作業できれいになりました。



5/29

ささえあいマップ作り

毎年、伊野地区の地図を元に、福祉委員・民生委員合同でささえあいマップ作りをしています。各町内にお住まいの高齢者夫婦世帯、ひとり暮らし世帯などを地図上に落とし込み、現状や注意点がないか互いに確認し合いました。空き家も増えていますので、隣りの家が遠くなつたという方もいらっしゃると思います。



声掛け・見守りが必要とする方については、民生委員さんが見守り活動をしておられます。ご近所同士でも声をかけあって、誰もが安心して暮らせる伊野づくりのために、隣近所で声をかけ合って助け合う地域になるとよいですね。



8/21

福祉委員・民生委員 合同研修会



伊野地区では各町内に1名の福祉委員の方を2年任期でお願いしています。今年度は2年目の年となり、車いす体験を行いました。

実際に車いすに乗ってみると、高いものが取れない、少しの段差でも引っかかる、といった不便さを感じました。また、乗る人を介助する時には、相手に不安や恐怖を与えないようになるとよいと教えていただきました。



歳末助け合い・赤い羽根共同募金運動にご理解・ご協力ありがとうございました。



伊野地区の皆さまより、各世帯から赤い羽根共同募金は七七〇円、一般会費ならびに個人・団体等からの賛助会費は一口一、〇〇〇円、寄附のご協力をいただきました。

これらの寄附金は地域福祉を推進する活動の費用に充てられています。伊野地区では地区社協活動助成費として、子ども・高齢者支援事業やふれあいサロン事業などに利用させていただいています。

皆さまのご協力、ありがとうございました。

ご寄附の御礼

(令和六年三月一日～令和六年十一月三十日)

香典返し

近藤 貞男 様（安来市） 佐藤 広幸 様（西地合町内）
川瀬伊佐子 様（三ノ谷町内） 多久和祥司 様（金森町内）
竹内 憲司 様（畠ヶ中町内） 田中みどり 様（中ノ手町内）

ご厚志ありがとうございました。
社会福祉事業に有効活用させていただきます。



※社協だよりは「出雲市社会福祉協議会の会費、寄付金及び共同募金を財源とした助成金」を財源の一部としています。